

各学校の要望に合わせた手づくりの教材やカリキュラムを作成するなど、大きな成果を上げている。2003年にはこれまでの活動が評価され、財団法人国際交通安全学会から業績部門での国際交通安全学会賞を受賞した。

(2) 「安全マップ」を利用した防犯啓発活動の内容

春日井安全・安心まちづくり女性フォーラムの2002年度からの取り組み内容を以下に示す。

*総合学習を利用した取り組み

小学校の総合学習の時間を利用した防犯啓発の「出前授業」をしている。「安全マップ」を使い、手づくりの教材やカリキュラムも用意する。具体的な場面を寸劇にして、子どもたちに「自分の身は自分で守る」ことを学習させる。

*活動マニュアルと学習プログラムの作成

自分の身は自分で守る」をテーマに「交通」「防犯」「防災」の3通りの「総合学習活動マニュアル」を作成した。

防犯では、活動のねらいを「こんなとき どうする?」とし、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう、犯罪の恐ろしさを教えたり、どのようにして自分の身を守るのかを学習させる。また、もし危険に遭遇した場合には、最善の行動がとれるように指導している。

学習の内容は以下の通りである。

- 1) 安全マップの確認（自宅を確認、マップの内容を確認）
- 2) 防犯安全マップ確認（校区内の危険箇所の確認、なぜ危険でどうしたら安全なのか）
- 3) 紙芝居（こんな所に気をつけよう、知らない人に声をかけられた時は?、「通学路110番の家」ってなに?、でかける時のお約束など）
- 4) クイズ（各場面で問題を提起し、最善の行動を考え話し合う）
- 5) 学習のまとめ（各自が感じたことの発表）
- 6) 防犯体験学習（ゆすり、たかり、ひったくり、ちかん等にあった時、どう行動するか）

学習プログラムを一覧にまとめたものが図1である。

*活動実績

小学校への「出前授業」は、2002年度から始まった。各学校の要望を取り入れ、1年間で11小学校、17回の出前授業が開かれた。

*スーパー防犯灯の設置

活動の成果として、2002年、街頭緊急通報システム（スーパー防犯灯）が国費で設置された。国の事業である「歩いて暮らせる街づくりモデルプロジェクト事業」（全国20自治体）の一つに採択され、さらにモデル地区（全国で10地区）として市内の鳥居松地区が選定されたことによる。

3. まとめ

(1) 春日井市の活動の成果

春日井市安全・安心まちづくり女性フォーラム実行委員会の活動から得られた成果は以下のようにまとめられる。

図1 女性フォーラム学習プログラム

「安全マップ」		自宅を確認する マップの内容の確認	
	交通	防犯	防災
	自分の身は自分で守ろう	こんなとき どうする？	もしもの時、あなたは非難所や避難経路を知っていますか？
活動のねらい	物の豊かさ、便利さを求めている車優先の道路等、多様化する社会の中で、一人ひとりが自分の身は自分で守るという意識を高めることが求められています。そこで、学習や体験を通して、校区内の危険箇所を知ったり、交通ルールを守ることの大切さや必要性を学んだりすることで、自分の身は自分で守ることを意識させ「生きる力を身につけさせることをめざします。	最近では、社会の希薄化や犯罪も多様化し、子どもたちが犯罪に巻き込まれ、痛ましいニュースが後を絶ちません そこで、子どもたちの行動に着目し、犯罪の恐ろしさと、どのようにして、自分の身を守るかということを学習し、もし、危険に遭遇した時には、最善の行動がとれることをめざします。	東海、東南海地震が遠からず襲来するといわれています。昔から「備えあれば憂いなし」といわれていますが、常日頃から防災意識を持つことが、もしもの時に役立つと考えます。子どもたちへの啓発が、ご家族並びに地域の人々への防災意識を持つきっかけづくりになることを目的とします。
活動内容	①マップから見えてきた危険箇所の現状を知る ②春日井市内の事故の実態 ③道路標識 ④交通ルールの確認 ⑤学習のまとめ	①防犯安全マップ確認 ②紙芝居 ③クイズ ④学習のまとめ	①チェックシート ②安全マップ ③非常持出袋 ④クイズ ⑤学習のまとめ
体験学習	警察署、交通対策課等に協力していただき、交通安全体験教室の実施	子どもたちが、ゆすり、たかり、ひったくり、ちかん等にあった時、どう行動するか実演を通じて学習する。 (警察署・校区内の「こども110番の家」「SOSの店」などに協力していただく)	グラッキー試乗

1) 危険箇所の改修

*側溝の蓋かけ/歩道の縁石の回収/避難路の坂道の階段の改修と手すりの設置

2) 地下道の見直し

*子どもたちの通学路が国道から地下道利用に変更された/国土交通省が支援しているボランティア・サポート・プログラムへとはってんした/地下道の有効利用(掲

示板の設置)

3) 危険箇所の改善

* 照明灯の設置/歩道橋の改修

4) 路上駐車追放キャンペーンの実施

5) 周辺自治体への波及効果

危険箇所の改修やスーパー防犯灯の設置など、ハード的な整備は成果の一つではあるが、このような施設整備は二次的な成果である。安全マップづくりでめざしているのは、安全意識の高揚と地域コミュニティの再生であり、総合学習の中に取り入れることによって、子どもたちに「自分の身は自分で守る」という意識を定着させ、それとともに社会性を養うことである。また、PTAや「通学路こども110番の家」の人など、地域住民の参加を得ることで、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域ぐるみの安全意識の高揚を図ることをめざしているものである。

(2) 地域の連携にむけて

春日井市での取り組みは、地域が連携して子どもを守っている好例である。子どもを犯罪の被害から守るには、次のようなことが大事である。

* 子どもの生きる力を育むような環境をつくる。

* 防犯上、気をつけなければならない場所を認識させる。

* 自分の身は自分で守ることを自覚させる。

* 地域の中に、子どもがいざというとき助けを求められる場所をつくる。

なお、現在、各地で「こども110番サービス」が実施されている。

たとえば、危険な目にあったとき駆け込める目安となる場所となる「子ども110番の家」(緊急避難場所)は1998年ころから各地で設置されるようになった。地域により「太陽の家」「こども・女性110番」「こども連絡所」「こどもを守る安心の家」「なでしこの家」等、呼び方は異なる。比較的留守がちでない個人の家、通学路や子どもの遊び場に近家、コンビニエンスストアや美容院などの商店、ガソリンスタンド、郵便局、警察署などにステッカーや看板で表示されている。表示と一緒に「こまったときはいつでもおいで」「こわいとおもったらすぐとびこんでおいで」等の文言が書かれているものもある。

ほかに、各地でタクシー会社が「110番通報協力制度」を発足させている。タクシーの持つ機動力と無線ネットワークを生かした制度である。長崎県では1999年5月に県警と県タクシー協会が協力して「こども&シルバー110番通報協力車制度」を発足させた。協力車両は犯罪に巻き込まれそうな子どもを発見したら、すぐ保護し、同時に警察に通報する。さまざまな事件を想定した行動マニュアルも作成した。山梨県でも2001年12月から「安全・安心まちづくり110番協力タクシー」を、長野県では社団法人長野県警備業協会加盟員の巡回車などを「こども あんしんの車」として委嘱した。ほかにも各地でこのような制度を発足させている。郵便局の車両による「こども110ばん」もスタートしている。

しかし、せっかくこのような「通報協力者制度」を発足させても、一般の人に認知されていないと制度は生かされない。乗務員の教育や訓練はもちろんのこと、たまた

ま乗り合わせた客の理解・協力も欠かせない。

子どもを犯罪から守るには、地域の中で多くの人が連携していく必要がある。

幼稚園・保育園での「防犯教室」や小学校での総合学習で子どもたちに教えたり、広報等を通じて市民に周知することが大事であろう。

参考文献

- 1) 「ヒヤリ地図をつくろう ～シルバーによるシルバーのための交通安全～」
(財)国際交通安全学会, 1998年3月
- 2) 『「ヒヤリ地図づくり」提案の成果とその運用に関する研究』
(財)国際交通安全学会, 2000年3月
- 3) 「市民参加型交通安全対策の実現に向けた社会実験」報告書
(財)国際交通安全学会, 2002年7月
- 4) 『「みんなで考えよう まちを活かす「みち」』
春日井安全・安心まちづくり女性フォーラム実行委員会, 2000年11月
- 5) 「地域の安全のために セーフティーマイタウン春日井」
春日井警察署生活安全課, 2001年4月

(出典: 松村 みち子「児童研究」第83巻, 2004年)

3. 参考文献

- (1)「人口問題研究」第 59 卷 1 号, 国立社会保障・人口問題研究所, 厚生統計協会, 2003.10.
- (2)「防災管理者講習テキスト」防災管理研究会, 近代消防社, 2003.10.
- (3)「児童福祉六法」児童福祉法規研究会監修, 中央法規出版, 2003.11.
- (4)「変革次代の教育をさぐる—学校・家庭・地域における教育の課題と展望—」, 小沢熹／佐藤三三／村山正明, 東信堂, 2003.12.
- (5)「社会福祉行政業務報告—福祉行政報告例—」, 厚生労働省官房統計情報部, 厚生統計協会, 2003.12.
- (6)「犯罪白書—変貌する凶悪犯罪とその対策—」, 法務省法務総合研究所, 国立印刷局, 2003.12.
- (7)「第 5 次改訂 学校保健安全法令必携」, 学校健康教育法令研究会監修, ぎょうせい, 2004.2.
- (8)「社会福祉施設等調査報告」, 厚生労働省官房統計情報部, 厚生統計協会, 2004.2.
- (9)「地域社会における学校の拠点性」, 酒川茂, 古今書院, 2004.2.
- (10)「安全・安心の基礎知識」, 全国危険物安全協会, ダイアモンド社, 2004.3.
- (11)「子育てしやすい社会—保育・家庭・職場をめぐる育児支援策—」, 前田正子, ミネルヴァ書房, 2004.4.
- (12)「第 2 回 21 世紀出生児縦断調査」厚生労働省官房統計情報部, 厚生統計協会, 2004.5.
- (13)「人口問題研究」第 59 卷 2 号, 国立社会保障・人口問題研究所, 厚生統計協会, 2004.4.
- (14)「女性労働白書—働く女性の実情—」, 厚生労働省雇用均等・児童家庭局, 21 世紀職業財団, 2004.5.
- (15)「地域保健医療基礎統計」, 厚生労働省官房統計情報部, 厚生統計協会, 2004.5.
- (16)「世帯にみる女性の就業—国民生活基礎調査特殊報告—」, 厚生労働省官房統計情報部, 厚生統計協会, 2004.5.
- (17)「労政時報別冊 福利厚生事情」労務行政研究所, 労務行政, 2004.7.
- (18)「危機管理・セキュリティ用語事典」, 大泉常長／大泉陽一, 立花書房, 2004.7.
- (19)「第四次全訂 新学校管理読本」, 学校管理運営法令研究会, 第一法規, 2004.9.
- (20)「改訂 保育所運営マニュアル—新時代の保育サービスと子育て支援—」, 栃尾勲／迫田圭子編集, 中央法規出版, 2004.9.
- (21)詫間 晋平:「地域における児童の危機管理に関する調査研究」(『平成 14 年度児童環境づくり等総合調査研究事業報告書』こども未来財団. 2003 年 3 月.)¹⁾
- (22)詫間 晋平:「学校保健管理 — 地域におけるリスク管理の観点から —」(『保健医療科学』第 53 卷 第 2 号 97 - 102. 2004 年.)
- (23)詫間 晋平:「地域におけるリスク管理 — 子どもの犯罪・事故回避 —」(『こども未来』誌 (特集 子どもの安全を守るために) 2005 年. 2 - 5.)
- (24)詫間 晋平:「子どもの危機管理の実態とこれからの安全対策について」(『チャイルドヘルス』誌, No.81. 2005 年. 41 - 50.)

(柴若 光昭・物部 博文)

4. 中国・四国地域におけるU市の放課後児童クラブの例

(1) 地域の概況

U市は本州の一番西の県である県の南西部に位置している。石炭産業から発展し、2004年11月1日にはK町と合併して新しいU市として発足した。この合併により人口は約18万人となり、県下では第2位の人口を有する都市となった。瀬戸内海に面し、気候は温暖である。U市子ども福祉課によれば、2004年11月現在、U市内には、公立・私立合わせて29の保育所がある。

(2) 結果と考察

回答数は、59であった。

(問1)

記入者の性別は女性が58名、男性が1名で、女性が98.3%を占めている。記入者の年齢は35～39歳が1番多く27名(45.8%)、以下40～44歳(22.0%)、30～34歳(15.3%)、45～49歳(11.9%)の順であった。他の年齢では、24歳以下、25～29歳、50～54歳にそれぞれ1名(1.7%)いた。住まいは一戸建て住宅が84.7%、集合住宅が13.6%と、一戸建て住宅が8割以上を占めた。

(問2)

子どもの性別は、男が33名、女が26名で男のほうが若干多かった。

(問3)

1年間の通院・入院経験では、通院があったが3名(5.1%)で、残りの56名は入院も通院もなかった。

事故の種類では、「転倒した(ころんだ)」が4名、「けんかや暴力でケガをした」が2名、「転落した(落ちた)」、「人や物にぶつかった」、「熱中症になった」が各1名であった。

傷害の内容では、「すり傷・きり傷」が4名(6.8%)、「骨折」が3名(5.1%)と、「骨折」の割合が他地域に比べ高い結果となった。「骨折」の3名は学年別では1年生が1名、2年生が2名であり、性別では男2名、女1名という内訳であった。他には「打撲(うちみ)」、「出血」、「発熱」、「脱水」が各1名であった。

事故の時に使用していた遊具は「滑り台」「普通のブランコ」が各1名、「その他」が2名であった。

「事故を未然に防止できる可能性」については「可能性はなかった」が2名で、「可能性があった」とする回答はなかった。

子どもがケガをすることが多いかどうかでは、「あてはまることなし」と「少ないほう」で6割以上を占め、「多いほう」との回答は4名(6.8%)であった。

また、放課後児童クラブが傷害保険に加入しているかどうかでは、「わからない」が最も多く52.5%であり、次が「加入している」の44.1%であった。

(問4)

子どもが事故や犯罪にあうかもしれない不安については、「強く感じている」が8名(13.6%)で他地域に比べると低いものの、「漠然と感じている」は34名(57.6%)

おり、程度の違いはあるものの何らかの不安を感じている人の割合は7割を超える。

(問5)

この1年間に子どもが身の危険を感じたことがあったのは2名(3.4%)で、「なかった」の割合(96.6%)は他地域に比べ若干高かった。

(問6)

安全上のしつけとして、身の危険を感じた時に助けを求める具体的な方法については、「知らない人について行かない」が最も多く51名(86.4%)、「大声を出す」が40名(67.8%)と、他地域と同じような傾向であった。また「子ども110番などの場所を教えている」は44.1%、「防犯グッズ等を持たせている」は39.0%と、ほぼ4割の人が具体的な対策について教えていると回答した。

(問7)

放課後児童クラブで「毎日友だちと楽しく遊んでいる」は、全体の9割弱が「はい」と回答した。「おやつが楽しみ」は8割以上が、「先生も一緒に遊んでくれる」は約8割が肯定した。「好きなことができない」については6割以上が「いいえ」と回答し、「行きたくないと思うこともある」については約4割が「はい」と回答した。

子どもが好きな遊具は、4割強に好まれているのが「普通のブランコ」と「滑り台」、3割強に好まれているのが「鉄棒」「ジャングルジム」「砂場」であった。

(問9)

放課後児童クラブの満足度に関しては、「ほぼ満足」が最も多かったのが生活指導面の35.6%であり、衛生面、安全面でも「ほぼ満足」が3割を超えた。一方、施設面では「ほぼ満足」が2割、「改善点がある」が2割強であった。

(問10)

子どもの健全育成での不安や心配について尋ねたところ、「子どもがケガをしても仕事を抜けることが難しい」との回答が17名(28.8%)と3割弱あった。また「親として簡単な応急処置のやり方をよくわかっていない」との回答も、17名であった。他には「すぐにかかれる病院や診療所が近くにない」、「子どもが事故にあった時、すぐに頼れる友人等が近くにいない」、「親子で遊べる屋内施設の充実をはかって欲しい」が1割強(各13.6%)あった。

(問11)

仕事の状況では、「フルタイムの仕事」が24名(40.7%)、「パートタイムの仕事」が22名(37.3%)と、78.0%が勤めに出る形で就業している。さらに「自営(手伝い含む)」を加えると、約9割が何らかの形で仕事をしており、「仕事をしていない(主婦を含む)」は1割であった。

(問12)

同居家族では「兄弟・姉妹がいる」が約8割(79.7%)であり、兄弟・姉妹数では「2人」が45.8%、「3人以上」が27.1%と、8割弱の子に兄弟・姉妹がいる。また、祖父・祖母と同居しているのは2割弱(18.6%)であった。

(3) まとめ

宇部市の結果を今回調査した他の地域と比較してみると、この1年間に子どもが身

の危険を感じたことが「なかった」と回答した割合は他の地域より若干高かった。そのことだけを見れば、相対的には子どもにとって危険性の少ない地域と考えられる。

それにもかかわらず、程度の違いはあるものの7割を超える保護者が、「子どもが事故や犯罪にあうかもしれない不安」を抱いている。安全上のしつけに関しては、ほぼ4割が具体的な対策についても教えている。近年、子どもが犠牲になる事件が各地で発生していることが、影響を及ぼしているものと考えられる。地方都市である中部地域と比較すると、「祖父・祖母と同居している」割合は、豊田市（46.5%）、岐阜・関市（27.8%）より宇部市のほうが低く18.6%であった。逆に、「フルタイムもしくはパートタイムで仕事をしている」割合は豊田市・岐阜市・関市の平均（58.3%）より宇部市のほうが高く78.0%であった。宇部市の回答者は核家族が多く、1割強が近くに頼れる親類や友人がいないと回答した。また3割弱が「子どもがケガをしても仕事を抜けることが難しい」と回答した。

子どもが病気になり、親が「どうしても仕事を休めない」場合、宇部市では「乳幼児健康支援一時預かり事業」を実施している。乳幼児から小学校3年生くらいまでの児童が対象であるが、原則として病気回復期の児童に限っている。市内には地域の母親が自主的に集まって交流している「子育てサークル」もある。

核家族が子育ての悩みや不安を家庭の中だけで抱え込まないよう、きめ細かなサポート体制を一層充実させていくことが大事であろう。

（松村 みち子）

子どもの事故と犯罪の回避に関する意見調査<保護者用>

平成16年12月

子どもの事故回避総合研究会
(研究代表者 詫間 晋平)

この調査は、地域における子どもに係わる事故と犯罪の実態を具体的に把握し、それに対する回避と安全対策について考察するための資料として、保護者の皆様におたずねするものです。調査の結果は、すべて統計的に数値としてまとめられますので、ご回答の内容や結果で、皆様にご迷惑をおかけすることは絶対にありません。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

< 記入上のお願い >

- ・各質問の当てはまる項目の番号に○をつけてください。回答にさしつかえがある質問は空欄にしてください。
- ・各質問の()の中には、文字や数字でお答えください。

問1. お子さん(2人以上の場合は年上の子)が、かよっている施設の番号に○をつけてください。

1. 児童館 2. 放課後児童クラブ 3. 認可保育所 4. 無認可保育所 5. 幼稚園
6. その他()

問2. お子さんの性別・年齢は? (1) 性別 1. 男 2. 女 (2) 年齢 () 歳

問3. お子さんがかよっている施設の所在地は?

1. 岡山 2. 成田・木更津 3. 船橋 4. 豊田 5. 岐阜・関 6. 横浜 7. 他()

問4. お子さんがかよっている施設に来ている他の子どもの年齢・学齢等の番号にすべて○をつけてください。

1. 3歳児未満 2. 4歳児 3. 5歳児 4. 6歳児 5. 小学1年生
6. 小学2年生 7. 小学3年生 8. 小学4年生以上 9. わからない

問5. お子さんがかよっている施設の総職員数は? → () 人

問6. その施設では、障害児の受入もしていますか?

1. 受入れている 2. 受入れていない 3. わからない

問7. お子さんがかよっている施設の周囲の環境について、次の中で一番近い番号に○をつけてください。

1. 人通りのにぎやかな商店街 2. 閑静な住宅街 3. 周りに住宅や建物が少ない場所
4. 騒音などが多い工場地帯 5. その他()

問8. この1年間(本年11月末日迄の間)、おさんは、かよっている施設での事故で、1回以上病院などに通院や入院をしたことがありますか。(あてはまる番号にすべて○をつけ、合計日数もお答えください。)

1. 1回以上の通院があった → 通院回数の合計()回
2. 入院があった → 入院日数の合計()日 3. なかった

問9. 事故後は、何か改善がされましたか?

()

問10. 病院などにかかった、大きい事故について、次の(1)～(12)の質問にそれぞれお答えください。

(1) 事故の種類 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. 転落した (落ちた)	2. 転倒した (ころんだ)	3. 人や物にぶつかった
4. 物に指や体をはさまれた	5. 物が倒れてきた	6. 上から物が落ちてきた
7. 自分で刃物でケガをした	8. ガラスなどでケガをした	9. やけどをした
10. 物をのどにつまらせた	11. 異物や薬品を誤って飲んだ	12. けんかや暴力でケガをした
13. 水におぼれた	14. 虫さされ、動物にかまれた	15. 毒物のかぶれ・中毒になった
16. 熱中症になった	17. 交通事故にあった	18. 感電した
19. その他 () 20. あてはまることなし

(2) 傷害の内容 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. 打撲 (うちみ)	2. 突指・ねんざ (捻挫)	3. 脱臼・関節ずれ	4. 骨折
5. すり傷・切り傷	6. 切断・欠損	7. 出血	8. 内出血
9. 火傷	10. 中毒	11. 炎症	12. 発熱
13. 脱水	14. 脳しんとう	15. 意識障害	16. 結膜炎
17. 凍傷	18. その他 ()	20. あてはまることなし

(3) 傷を負った部位 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. 頭	2. 顔	3. 眼	4. 耳	5. 鼻	6. 口
7. 指・手・腕	8. 足	9. 胸部	10. 腹部	11. 背中	12. 尻
13. 内臓	14. その他 ()	14.	あてはまることなし	

(4) 事故が起こった場所 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. 施設中の屋内	2. 施設中の屋外	3. 施設外 ()
4. あてはまることなし			

(5) 事故の時に使用していた遊具 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. ジャングルジム	2. 滑り台	3. 普通のブランコ	4. 鉄棒
5. うんてい (雲梯)	6. 登り棒	7. ろくぼく (肋木)	8. シーソー
9. タイヤ	10. つきやま (築山)	11. サッカーゴール	12. ターザン
13. 砂場	14. その他 ()	15. あてはまることなし

(6) 事故があった曜日と回数 (あてはまる曜日の番号にすべて○をつけ、その回数をご記入ください。)

1. 月曜日 () 回	2. 火曜日 () 回	3. 水曜日 () 回	4. 木曜日 () 回	5. 金曜日 () 回
6. 土曜日 () 回	7. 日曜日 () 回	8. 学校休業日 () () 回	9. あてはまることなし	

(7) 事故があった時間帯 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. 午前中	2. 12時台	3. 13時台	4. 14時台	5. 15時台
6. 16時台	7. 17時過ぎ	8. わからない	9. あてはまることなし	

(8) 事故があった時の天候 (あてはまる番号にすべて○をつけてください。)

1. 晴れ	2. 曇り	3. 雨	4. 雪	5. わからない	6. あてはまることなし
-------	-------	------	------	----------	--------------

問16. お子さんのかよっている施設、衛生、生活指導、安全面について、どの程度満足しておられますか？

- | | | | |
|----------------|---------|-------|---------------|
| (1) 施設面について—— | 1. ほぼ満足 | 2. 普通 | 3. 改善点がある () |
| (2) 衛生面について—— | 1. ほぼ満足 | 2. 普通 | 3. 改善点がある () |
| (3) 生活指導面について— | 1. ほぼ満足 | 2. 普通 | 3. 改善点がある () |
| (4) 安全面について—— | 1. ほぼ満足 | 2. 普通 | 3. 改善点がある () |

問17. お子さんを健全に育成する環境について、保護者として日ごろから不安を感じたり、心配しておられることがありますか？ あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. すぐにかかれる病院や診療所が近くにない |
| 2. 自分の仕事に子どもがケガをしても、仕事を抜けることがむずかしい |
| 3. 子どもが事故にあった時に、いつでも頼れる友人等が近くにいない |
| 4. 子どもがケガをしやすい傾向がみられる |
| 5. 施設（「放課後児童クラブ」内、学校や「放課後児童クラブ」にかよう途中）等に危険な場所がある |
| 6. 親として簡単な応急処置のやり方をよくわかっていない |
| 7. 親子で遊べる屋内施設の充実をはかりたい（はかって欲しい） |
| 8. その他 →（具体的に： _____） |

問18. あなたは、お仕事をしておられますか？ 一番近い仕事の番号に○をつけて下さい

- | | | |
|-------------------------|-----------------|-----------------|
| 1. フルタイムの仕事 | 2. パートタイムの仕事 | 3. 自営業（自営手伝い含む） |
| 4. 仕事をしていない（いわゆる専業主婦含む） | 5. その他（ _____ ） | |

問19. あなたの性別、年代をお知らせください。

- | | | | | | | | | | |
|--------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| (1) 性別 | 1. 男性 | 2. 女性 | | | | | | | |
| (2) 年齢 | 1. 24歳以下 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 | 9. 60歳以上 |

問20. お子さんから見た、同居家族の方にすべて○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. 祖父・祖母がいる | 2. 兄弟・姉妹がいる → 何人兄弟ですか？ () 人 |
|-------------|------------------------------|

問21. かよっている施設のことで、お困りになった（なっている）ことは、どんなことでもお知らせください。

--

ご協力誠にありがとうございました。

※お答えいただいた内容につきまして、ご確認させていただく場合がございます。

もし、さしつかえがなければ、ご連絡先をご記入ください。

お電話番号 _____ （内線等 _____）

お電話させていただく場合のご都合のよい時間（ _____ 時ごろ）

全地区クロス

問1. 子ども(年長)が通っている施設

問2. 1子ども
もの性別

対象地区	全体	児童館	放課後児童クラブ	認可保育所	無認可保育所	幼稚園	その他	全体	男	女
全体	519 100.0	19 3.7	27 5.2	151 29.1	4 0.8	144 27.7	174 33.5	519 100.0	262 50.5	257 49.5
岡山地区	23 100.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 52.2	9 39.1	23 100.0	16 69.6	7 30.4
成田・木更津地区	109 100.0	2 1.8	4 3.7	24 22.0	3 2.8	6 5.5	70 64.2	109 100.0	45 41.3	64 58.7
船橋地区	156 100.0	14 9.0	19 12.2	0 0.0	1 0.6	42 26.9	80 51.3	156 100.0	83 53.2	73 46.8
豊田地区	99 100.0	0 0.0	0 0.0	50 50.5	0 0.0	40 40.4	9 9.1	99 100.0	54 54.5	45 45.5
岐阜・関地区	108 100.0	1 0.9	3 2.8	55 50.9	0 0.0	44 40.7	5 4.6	108 100.0	52 48.1	56 51.9
横浜地区	24 100.0	0 0.0	1 4.2	22 91.7	0 0.0	0 0.0	1 4.2	24 100.0	12 50.0	12 50.0
問1. 子ども(年長)が通っている施設										
児童館	19 100.0	19 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 100.0	12 63.2	7 36.8
放課後児童クラブ	27 100.0	0 0.0	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 100.0	11 40.7	16 59.3
認可保育所	151 100.0	0 0.0	0 0.0	151 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	151 100.0	81 53.6	70 46.4
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	1 25.0	3 75.0
幼稚園	144 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	144 100.0	0 0.0	144 100.0	75 52.1	69 47.9
その他	174 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	174 100.0	174 100.0	82 47.1	92 52.9

問6. 障害児受入れの職員数
問5. 施設の職員数

問4. 通所の子どもの年齢

対象地区	全体	3歳児未満	4歳児	5歳児	6歳児	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生以上	わからない	無回答	全体	受け入れている	受け入れていない	わからない	全体	平均
全体	519 100.0	221 42.6	298 57.4	310 59.7	306 59.0	160 30.8	160 30.8	160 30.8	140 27.0	10 1.9	31 6.0	519 100.0	212 40.8	31 6.0	276 53.2	233 100.0	11.1
岡山地区	23 100.0	13 56.5	14 60.9	14 60.9	14 60.9	11 47.8	11 47.8	11 47.8	11 47.8	0 0.0	0 0.0	23 100.0	6 26.1	0 0.0	17 73.9	13 5.6	6.5
成田・木更津地区	109 100.0	34 31.2	33 30.3	33 30.3	32 29.4	38 34.9	38 34.9	38 34.9	40 36.7	2 1.8	29 26.6	109 100.0	26 23.9	5 4.6	78 71.6	24 10.3	19.1
船橋地区	156 100.0	4 2.6	40 25.6	48 30.8	46 29.5	99 63.5	99 63.5	99 63.5	83 53.2	8 5.1	0 0.0	156 100.0	24 15.4	19 12.2	113 72.4	60 25.8	7.3
豊田地区	99 100.0	51 51.5	87 87.9	91 91.9	90 90.9	4 4.0	4 4.0	4 4.0	2 2.0	0 0.0	2 2.0	99 100.0	52 52.5	5 5.1	42 42.4	82 35.2	6.9
岐阜・関地区	108 100.0	97 89.8	102 94.4	102 94.4	102 94.4	6 5.6	6 5.6	6 5.6	3 2.8	0 0.0	0 0.0	108 100.0	81 75.0	2 1.9	25 23.1	43 18.5	16.7
横浜地区	24 100.0	22 91.7	22 91.7	22 91.7	22 91.7	2 8.3	2 8.3	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	24 100.0	23 95.8	0 0.0	1 4.2	11 4.7	28.6

問1. 子ども(年長)が通っている施設

施設名	全体	3歳児未満	4歳児	5歳児	6歳児	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生以上	わからない	無回答	全体	受け入れている	受け入れていない	わからない	全体	平均
児童館	19 100.0	4 21.1	6 31.6	6 31.6	6 31.6	11 57.9	12 63.2	11 57.9	10 52.6	6 31.6	0 0.0	19 100.0	2 10.5	1 5.3	16 84.2	7 3.0	6.0
放課後児童クラブ	27 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 100.0	27 100.0	27 100.0	7 25.9	0 0.0	0 0.0	27 100.0	17 63.0	2 7.4	8 29.6	20 8.6	4.3
認可保育所	151 100.0	151 100.0	151 100.0	151 100.0	151 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	151 100.0	90 59.6	5 3.3	56 37.1	82 35.2	13.3
無認可保育所	4 100.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	1 0.4	12.0
幼稚園	144 100.0	54 37.5	132 91.7	143 99.3	142 98.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	144 100.0	77 53.5	15 10.4	52 36.1	105 45.1	9.5
その他	174 100.0	9 5.2	6 3.4	7 4.0	5 2.9	122 70.1	121 69.5	122 70.1	123 70.7	3 1.7	30 17.2	174 100.0	26 14.9	7 4.0	141 81.0	18 7.7	19.7

問8. この1年間の事故での通院・入院有無

問7. 施設の周囲の環境

対象地区

対象地区	全体	店 街 通 り の に ぎ や か な 商	閑 静 な 住 宅 街	周 り に 住 宅 や 建 物 が 少	帯 騒 音 な ど が 多 い 工 場 地	そ の 他	無 回 答	全 体	1 回 以 上 通 院 が あ っ た	入 院 が あ っ た	な か っ た	無 回 答
全体	519 100.0	91 17.5	185 35.6	146 28.1	1 0.2	71 13.7	25 4.8	519 100.0	44 8.5	0 0.0	453 87.3	22 4.2
岡山地区	23 100.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0	3 13.0	0 0.0	20 87.0	0 0.0
成田・木更津地区	109 100.0	9 8.3	46 42.2	17 15.6	1 0.9	11 10.1	25 22.9	109 100.0	9 8.3	0 0.0	80 73.4	20 18.3
船橋地区	156 100.0	79 50.6	64 41.0	1 0.6	0 0.0	12 7.7	0 0.0	156 100.0	9 5.8	0 0.0	145 92.9	2 1.3
豊田地区	99 100.0	0 0.0	8 8.1	84 84.8	0 0.0	7 7.1	0 0.0	99 100.0	5 5.1	0 0.0	94 94.9	0 0.0
岐阜・関地区	108 100.0	0 0.0	46 42.6	21 19.4	0 0.0	41 38.0	0 0.0	108 100.0	14 13.0	0 0.0	94 87.0	0 0.0
横浜地区	24 100.0	3 12.5	21 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 100.0	4 16.7	0 0.0	20 83.3	0 0.0

問1. 子ども(年長)が通っている施設

施設	全体	閑 静 な 住 宅 街	周 り に 住 宅 や 建 物 が 少	帯 騒 音 な ど が 多 い 工 場 地	そ の 他	無 回 答	全 体	1 回 以 上 通 院 が あ っ た	入 院 が あ っ た	な か っ た	無 回 答
児童館	19 100.0	7 36.8	9 47.4	2 10.5	0 0.0	1 5.3	19 100.0	1 5.3	0 0.0	18 94.7	0 0.0
放課後児童クラブ	27 100.0	8 29.6	11 40.7	1 3.7	0 0.0	7 25.9	27 100.0	3 11.1	0 0.0	24 88.9	0 0.0
認可保育所	151 100.0	3 2.0	66 43.7	64 42.4	1 0.7	17 11.3	151 100.0	17 11.3	0 0.0	134 88.7	0 0.0
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
幼稚園	144 100.0	15 10.4	44 30.6	54 37.5	0 0.0	31 21.5	144 100.0	15 10.4	0 0.0	129 89.6	0 0.0
その他	174 100.0	58 33.3	52 29.9	25 14.4	0 0.0	14 8.0	174 100.0	8 4.6	0 0.0	144 82.8	22 12.6

問10.1 事故の種類

対象地区	全体	転落した(落ちた)	転倒した(ころんだ)	人や物にぶつかった	物に指や体をはさまれた	物が倒れてきた	上から物が落ちてきた	自分で刃物でケガをした	ガラスなどでケガをした	やけどをした	物をのどにつまらせた	ん異物や薬品を誤って飲	したんかや暴力でケガをし	水におぼれた	れ虫たされ、動物にかま	な毒物のかぶれ・中毒に	熱中症になった	交通事故にあった	感電した	その他	あてはまることなし	無回答
全体	519 100.0	22 4.2	51 9.8	33 6.4	12 2.3	3 0.6	1 0.2	7 1.3	5 1.0	4 0.8	0 0.0	2 0.4	15 2.9	0 0.0	12 2.3	0 0.0	1 0.2	5 1.0	1 0.2	6 1.2	401 77.3	1 0.2
岡山地区	23 100.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 87.0	0 0.0
成田・木更津地区	109 100.0	3 2.8	5 4.6	4 3.7	2 1.8	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	2 1.8	0 0.0	1 0.9	90 82.6	0 0.0
船橋地区	156 100.0	5 3.2	18 11.5	12 7.7	4 2.6	2 1.3	0 0.0	2 1.3	2 1.3	2 1.3	0 0.0	0 0.0	4 2.6	0 0.0	3 1.9	0 0.0	0 0.0	3 1.9	1 0.6	2 1.3	120 76.9	0 0.0
豊田地区	99 100.0	5 5.1	10 10.1	5 5.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	3 3.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4 4.0	0 0.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	81 81.8	1 1.0
岐阜・関地区	108 100.0	6 5.6	15 13.9	7 6.5	3 2.8	0 0.0	1 0.9	1 0.9	2 1.9	1 0.9	0 0.0	2 1.9	3 2.8	0 0.0	4 3.7	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	3 2.8	73 67.6	0 0.0
横浜地区	24 100.0	2 8.3	2 8.3	5 20.8	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 12.5	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 70.8	0 0.0
問1. 子ども(年長)が通っている施設																						
児童館	19 100.0	0 0.0	3 15.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	1 5.3	2 10.5	14 73.7	0 0.0
放課後児童クラブ	27 100.0	1 3.7	0 0.0	2 7.4	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	22 81.5	0 0.0
認可保育所	151 100.0	8 5.3	15 9.9	15 9.9	4 2.6	1 0.7	1 0.7	2 1.3	2 1.3	1 0.7	0 0.0	0 0.0	8 5.3	0 0.0	3 2.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	1 0.7	114 75.5	1 0.7
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
幼稚園	144 100.0	8 5.6	20 13.9	8 5.6	5 3.5	0 0.0	0 0.0	1 0.7	2 1.4	3 2.1	0 0.0	2 1.4	3 2.1	0 0.0	6 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	101 70.1	0 0.0
その他	174 100.0	5 2.9	13 7.5	8 4.6	3 1.7	1 0.6	0 0.0	3 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.7	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	3 1.7	0 0.0	0 0.0	146 83.9	0 0.0

問10.2 傷害の内容

対象地区

対象地区	全体	打撲(うちみ)	突指・ねんざ(捻挫)	脱臼・関節すれ	骨折	すり傷・きり傷	切断・欠損	出血	内出血	火傷	中毒	炎症	発熱	脱水	脳しんとう	意識障害	結膜炎	凍傷	その他	あてはまることなし	無回答
全体	519 100.0	43 8.3	12 2.3	6 1.2	10 1.9	72 13.9	0 0.0	27 5.2	9 1.7	6 1.2	0 0.0	2 0.4	11 2.1	1 0.2	2 0.4	0 0.0	7 1.3	0 0.0	2 0.4	401 77.3	1 0.2
岡山地区	23 100.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	20 87.0	0 0.0
成田・木更津地区	109 100.0	7 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 9.2	0 0.0	4 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	90 82.6	0 0.0
船橋地区	156 100.0	14 9.0	7 4.5	2 1.3	5 3.2	23 14.7	0 0.0	7 4.5	4 2.6	3 1.9	0 0.0	1 0.6	4 2.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	4 2.6	0 0.0	0 0.0	120 76.9	0 0.0
豊田地区	99 100.0	6 6.1	1 1.0	1 1.0	1 1.0	13 13.1	0 0.0	6 6.1	3 3.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	81 81.8	1 1.0
岐阜・関地区	108 100.0	9 8.3	2 1.9	2 1.9	3 2.8	19 17.6	0 0.0	7 6.5	1 0.9	2 1.9	0 0.0	0 0.0	3 2.8	0 0.0	1 0.9	0 0.0	2 1.9	0 0.0	0 0.0	73 67.6	0 0.0
横浜地区	24 100.0	5 20.8	2 8.3	1 4.2	0 0.0	6 25.0	0 0.0	3 12.5	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	17 70.8	0 0.0

問11. 子ども(年長)が通っている施設

児童館	19 100.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	2 10.5	3 15.8	0 0.0	2 10.5	1 5.3	0 0.0	14 73.7	0 0.0									
放課後児童クラブ	27 100.0	1 3.7	1 3.7	0 0.0	1 3.7	3 11.1	0 0.0	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	22 81.5	0 0.0
認可保育所	151 100.0	15 9.9	3 2.0	2 1.3	2 1.3	24 15.9	0 0.0	12 7.9	4 2.6	1 0.7	0 0.0	0 0.0	3 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.3	0 0.0	0 0.0	114 75.5	1 0.7
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
幼稚園	144 100.0	13 9.0	4 2.8	2 1.4	3 2.1	23 16.0	0 0.0	7 4.9	3 2.1	4 2.8	0 0.0	1 0.7	3 2.1	0 0.0	2 1.4	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7	101 70.1	0 0.0
その他	174 100.0	13 7.5	4 2.3	1 0.6	2 1.1	19 10.9	0 0.0	4 2.3	1 0.6	1 0.6	0 0.0	1 0.6	4 2.3	1 0.6	0 0.0	0 0.0	3 1.7	0 0.0	1 0.6	146 83.9	0 0.0

問10.3 傷害を負った部位

対象地区	全体	頭	顔	眼	耳	鼻	口	指・手・腕	足	胸部	腹部	背中	尻	内臓	その他	あてはまることなし	無回答
全体	519 100.0	25 4.8	42 8.1	10 1.9	5 1.0	5 1.0	14 2.7	49 9.4	29 5.6	2 0.4	6 1.2	3 0.6	1 0.2	0 0.0	9 1.7	400 77.1	1 0.2
岡山地区	23 100.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 87.0	0 0.0
成田・木更津地区	109 100.0	4 3.7	6 5.5	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.8	3 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.8	90 82.6	0 0.0
船橋地区	156 100.0	6 3.8	12 7.7	3 1.9	3 1.9	1 0.6	5 3.2	18 11.5	12 7.7	0 0.0	2 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.3	120 76.9	0 0.0
豊田地区	99 100.0	5 5.1	6 6.1	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	8 8.1	6 6.1	0 0.0	1 1.0	2 2.0	1 1.0	0 0.0	1 1.0	80 80.8	1 1.0
岐阜・関地区	108 100.0	8 7.4	10 9.3	5 4.6	0 0.0	2 1.9	5 4.6	16 14.8	6 5.6	2 1.9	3 2.8	1 0.9	0 0.0	0 0.0	3 2.8	73 67.6	0 0.0
横浜地区	24 100.0	2 8.3	6 25.0	1 4.2	1 4.2	2 8.3	3 12.5	3 12.5	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 70.8	0 0.0
問1. 子ども(年長)が通っている施設																	
児童館	19 100.0	2 10.5	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.8	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 73.7	0 0.0
放課後児童クラブ	27 100.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	1 3.7	1 3.7	2 7.4	1 3.7	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.7	22 81.5	0 0.0
認可保育所	151 100.0	10 6.6	19 12.6	4 2.6	1 0.7	3 2.0	6 4.0	13 8.6	11 7.3	2 1.3	3 2.0	3 2.0	1 0.7	0 0.0	2 1.3	114 75.5	1 0.7
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
幼稚園	144 100.0	8 5.6	10 6.9	5 3.5	1 0.7	1 0.7	5 3.5	21 14.6	9 6.3	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.1	100 69.4	0 0.0
その他	174 100.0	5 2.9	10 5.7	1 0.6	2 1.1	0 0.0	1 0.6	11 6.3	7 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 1.7	146 83.9	0 0.0

問10.4 事故が起こった場所

対象地区

	全体	施設の 屋内	施設の 屋外	施設 の外	あて はまることなし	無 回答
全体	519 100.0	44 8.5	36 6.9	44 8.5	404 77.8	2 0.4
岡山地区	23 100.0	2 8.7	1 4.3	0 0.0	20 87.0	0 0.0
成田・木更津地区	109 100.0	7 6.4	4 3.7	7 6.4	91 83.5	0 0.0
船橋地区	156 100.0	8 5.1	9 5.8	21 13.5	121 77.6	0 0.0
豊田地区	99 100.0	3 3.0	11 11.1	3 3.0	81 81.8	2 2.0
岐阜・関地区	108 100.0	18 16.7	8 7.4	11 10.2	74 68.5	0 0.0
横浜地区	24 100.0	6 25.0	3 12.5	2 8.3	17 70.8	0 0.0

問1. 子ども(年長)が通っている施設

児童館	19 100.0	1 5.3	0 0.0	4 21.1	14 73.7	0 0.0
放課後児童クラブ	27 100.0	0 0.0	0 0.0	5 18.5	22 81.5	0 0.0
認可保育所	151 100.0	21 13.9	11 7.3	9 6.0	114 75.5	1 0.7
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
幼稚園	144 100.0	15 10.4	18 12.5	13 9.0	102 70.8	1 0.7
その他	174 100.0	7 4.0	7 4.0	13 7.5	148 85.1	0 0.0

問10.5 事故の時の使用遊具

対象地区	全体	ジャングルジム	滑り台	普通のブランコ	鉄棒	うんてい(雲梯)	登り棒	ろくぼく(肋木)	シーソー	タイヤ	つきやま(築山)	サッカーゴール	ターザン	砂場	その他	あてはまることなし	無回答
全体	519 100.0	3 0.6	8 1.5	5 1.0	1 0.2	2 0.4	1 0.2	0 0.0	0 0.0	2 0.4	3 0.6	0 0.0	1 0.2	6 1.2	24 4.6	472 90.9	3 0.6
岡山地区	23 100.0	0 0.0	1 4.3	22 95.7	0 0.0												
成田・木更津地区	109 100.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	1 0.9	105 96.3	1 0.9						
船橋地区	156 100.0	0 0.0	4 2.6	2 1.3	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	3 1.9	9 5.8	140 89.7	0 0.0
豊田地区	99 100.0	1 1.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.0	90 90.9	2 2.0
岐阜・関地区	108 100.0	0 0.0	2 1.9	3 2.8	0 0.0	2 1.9	10 9.3	93 86.1	0 0.0								
横浜地区	24 100.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	22 91.7	0 0.0
問1. 子ども(年長)が通っている施設																	
児童館	19 100.0	0 0.0	1 5.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	17 89.5	0 0.0
放課後児童クラブ	27 100.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	1 3.7	24 88.9	0 0.0										
認可保育所	151 100.0	2 1.3	2 1.3	3 2.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	7 4.6	135 89.4	1 0.7
無認可保育所	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0													
幼稚園	144 100.0	0 0.0	3 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	1 0.7	4 2.8	8 5.6	130 90.3	0 0.0
その他	174 100.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	7 4.0	162 93.1	2 1.1